

平成30年5月25日

報道関係各位

長崎県青少年劇場 『知覧・青春』 ～アイ・アム・ヒア！～

青少年劇場は、優れた芸能を青少年に直接鑑賞してもらうことで、豊かな心や人間性の形成の一助としたいと願って続けられている文化運動のひとつです。今回、本市で行われる芸能は「演劇」です。

この作品は、鹿児島県の知覧を舞台に、戦時中・戦後、若者が懸命に未来を考えて生きた様子をラブストーリーとして描いたものです。

この作品を見ることで「戦争の悲しさ」ばかりを考えるのではなく、「人間の滑稽さや素晴らしさ」を感じとることができます。

また、ゲスト出演として登場する中学生の生き生きとした姿も見ることができます。

開催校	期日	時間	場所
西有家中学校	5月30日(水)	14:00～(110分)	西有家中学校 体育館
布津中学校	5月31日(木)	14:00～(110分)	布津中学校 体育館

担当部署	教育委員会 生涯学習課	担当者	細波雄太
直 通	0957-73-6703	E mail	gakushuu@city.minamishimabara.lg.jp
詳しくは 		検索ワード	
担当者 連絡先			

劇団道化◆九州の平和シリーズ第4弾

知覧・青春

～ アイ・アム・ヒア! ～

作 ▶ 中村芳子・篠崎省吾

演出 ▶ 永井寛孝

<テーマソング>

作詞 ▶ 鹿児島の子ども劇場の青年たち

作曲 ▶ 野田かつひこ



良彦は青い空へ飛び立って行った…。
戦後六十年を教師として生きた今日子は、
七十歳を越えて一つの出来事に出会います……。

最新情報は
ホームページで

www.douke.co.jp

info@douke.co.jp

NPO法人

劇団道化

福岡県太宰府市朱雀6丁目3-13 〒818-0103

TEL:092-922-9738 FAX:092-922-9812

※日本劇団協議会加盟/日本児童・青少年演劇劇団協同組合加盟/国際児童青少年演劇協会日本センター加盟

「知覧・青春」

～ アイ・アム・ヒア! ～



スタッフ

作……………中村芳子・篠崎省吾

演出……………永井寛孝

美術……………大田 創

音楽……………野田かつひこ

衣裳……………的野伸子

照明……………吉次政道

音響効果… 平井克樹

テーマソング

作詞……………鹿児島の子ども劇場の青年たち

作曲……………野田かつひこ



主な登場人物

香月今日子……………(享年77才)

野見山茂……………(享年39才)

古賀さとみ……………(享年22才)

天国の案内人……………(年齢不詳)

香月泰三……………(42才・今日子の叔父)

香月美佐子……………(39才・泰三の妻)

田之上トメ吉……………(25才・元知覧特攻基地整備兵)

柳川良彦……………(17才・知覧特攻隊員)

香月今日子……………(16才・知覧高女の女子学生)

お世話になった皆さん

軍事訓練

伊藤卓卓さん(福岡県朝倉市)

所作指導

谷口宋亀さん(福岡県太宰府市)

朗読指導

副島紀身さん(福岡県太宰府市)

方言指導

上田キリ子さん、白石まゆみさん

(鹿児島県鹿児島市)

台本協力・テーマソング作詞

鹿児島の12人の青年たち

参考文献

- *「きけわたつみのこえ」(岩波文庫新版第一集・同新版第二集) *「紙屋悦子の青春」(松田正隆作)
- *「積乱雲」(里中満智子・講談社) *「ホテル帰る」(赤羽礼子・石井宏／草思社)
- *「知覧特別攻撃隊」(村永薫編) *「敗北を抱きしめて」(ジョン・ダワー／岩波書店)

●小道具協力: *Campella* ●開演写真: 大井啓嗣

Story

天寿を全うして天国へやってきた香月今日子は、天国の受付係に「尋ね人」の依頼をする。

彼女が探したい人は、60数年前の戦争で、17歳で特攻隊として飛んで行った恋人の柳川良彦。

ところが、天国の死亡登録簿に彼の名前はない。

驚く今日子に、係員は「消息検索機」を使って、今日子に良彦の消息を検索してみせる……。

戦後、中学校の英語教師となり、自立した女性として生きてきた今日子の77年の人生を通して、「人間の滑稽さ・素晴らしさ」「戦争の悲しさ」を考える青春物語。

僕らと鹿児島の若者と

NPO法人劇団道化 理事長 篠崎 省 吾

鹿児島に足しげく通い出して、はや13年。『いつか、鹿児島が舞台の作品を創りたい』そう思っていた。そして、遂にそのチャンスが巡って来た。

「鹿児島県子ども劇場協議会高学年祭典」。鹿児島県の中学生高校生に見てもらふ作品を作る事になったのだ。僕は、集まってくれた若者たちに熱く語った。

『知覧を舞台に作品と一緒に作ろう』『そんなの暗い。嫌だ』即答だった。『じゃ、どんなドラマがいいの?』『恋愛もの・青春もの』これも即答だった。『じゃ、恋愛ドラマをやろう。但し、1945年の知覧が舞台の……』彼らも乗ってきた。でも、ネタのアテがある訳ではなかった。『皆で、1945年当時の若者はどんな恋愛をしていたか、調べてみよう』

こうして、僕ら劇団道化と鹿児島の青年たちとの作品作りが始まった。女子高生が頑張って、おばあちゃんに取材に行った。結果は、『当時は結婚が先。好きになるのは後』だった。では、恋愛はなかったのか? 暗礁に乗り上げた。しかし、その女子高生はおばあちゃんから特攻人形の作り方を習って、自ら作り上げて来ていた。

そして、とうとう、ラブレターらしきものの存在を見つけた。僕らの作品作りは再開した。う〜んと、当時の若者たちの生き方を思い描きながら…、色んな若者が生きていたこと。そして、彼らが若者らしく懸命に未来を模索していたことを知っていった…。

こうして、一つのラブストーリーが完成しました。若者と一緒に創り出したフィクションをお楽しみください。



テーマソング・レコーディングの様子

NPO 法人

劇団道化

(社)日本劇団協議会加盟 / 日本児童・青少年演劇劇団協同組合加盟 / 国際児童青少年演劇協会日本センター加盟

〒818-0103 福岡県太宰府市朱雀6丁目3-18 TEL.092-922-9738 FAX.092-922-9812

劇団道化は1965年に福岡で生まれました。「エッ!!福岡でプロの劇団作るの?」「エッ!!しかも、子どもの芝居やるの?」「お前らバカか道化もんたい」と言われた当時の創立メンバーたち。「よし!」そんな劇団名はくどく化でいい!」以来、福岡で元気に活動を経て2006年にはNPO法人へ組織変更しました。

www.douke.co.jp

info@douke.co.jp